

# 四国歩き遍路結願

松井慎一郎



6年前の秋四国88か所第一番霊山寺から始めた歩き遍路、令和元年秋8回の区切り打ちで70番本山寺まで終えた。令和2年中に何とか結願したいと思っていたが、2月からのコロナ禍でしばらく様子を見ていた。

ようやく世間も少し落ち着きゴーツウトラベルが使える10月に意を決して四国へ向かう。JRの車内は

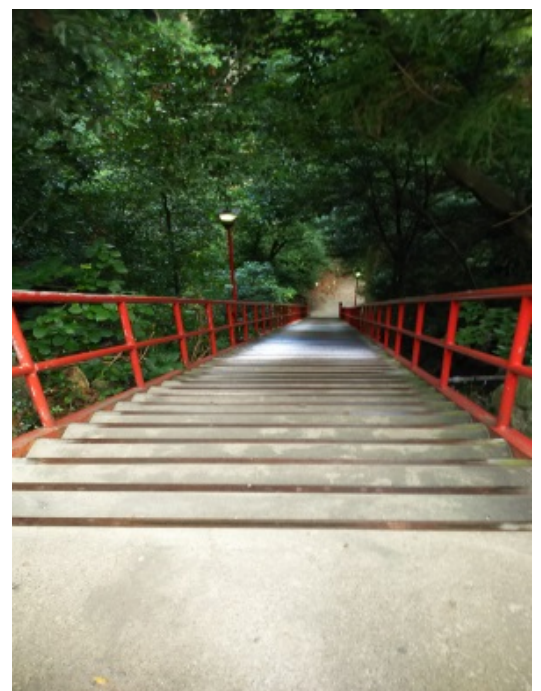
特急も新幹線もガラガラ。サンダバードは7人、「のぞみ」は25人、潮風は6人と1両の定員の20%にも満たなかった。

初日は午後1時半過ぎ本山寺からスタート。71番弥谷寺までは13キロ、国道11号線を歩くルートで3時間もあれば到着するだろうと意気揚々と足を進めた。しかし徐々に背負うリュックと山谷袋の重さに4キロも進まないうちにいつものペースでは歩けなくなり、歩みの速度をゆるめた。

幸い天気も良く心地よい風も吹いていてそれほど発汗もせずに弥谷寺の駐車場に到着。しかしそれからが長かった。山門から本堂まで400段の登りがまっていた。特に赤い手すりのついた108段は直登で息があがった。この日は駐車場横の健康ランドに宿泊する。もちろんゴートーを利用したので遍路宿と料金は変わらず大浴場でのんびりできた。

2日目。今日は72番から79番まで一気に歩こうと朝7時に出発。

72番・73番はちょっと山登りしたがそれほどで



もなく、後は町中を歩くのみ。宿も奮発して坂出口イダルホテルにした。75番善通寺は町中にある大きな寺院で本堂と太子堂の間に市道が貫いている。歩いていると観光客があつまっている。なにかと覗くと菓子屋だった。その道に面してテレビでも取材をたくさん受けている店だ。店先にお客が多くなったので中から若妻が乳飲み子をおんぶしながら出てきて、堅パンを袋に入れてくれた。善通寺はとにかく広い。奈良の興福寺ほどの面積がある。五重塔も立派だ。そういえば本山寺にも立派な五重塔があった。香川県のお寺は86番志度寺にも立派な五重塔があり経済的に豊だったのだろう。



善通寺の納経所で79番天皇寺まで歩きで行けるか尋ねると、ちょっと無理やないかと言われたが時間もたっぷりあり予定通りに歩を進めた。天皇寺に着いたのが午後5時ちょっと前。納経を受け坂出まで歩いて戻ろうと思っていたがすぐ坂下にJR八十場駅あり電車を利用した。ホテルに着いてチェックインしたが予約がないという。

いろいろ調べてもらったところホテル名が違っていった。坂出口イダルホテルと坂出国際ホテルを思い違いしていたのだ。結局坂出口イダルホテルまで2キロの道を歩き到着したのは午後6時を過ぎていた。45キロを歩く。

3日目、79番から82番へ。朝から雨が降っている。ホテルを6時前出発。電車にのり天皇寺から歩き始めたのは6時半だった。今日は山登りがメインだ。80番国分寺には8時着。81番白峰寺へ行く山道は結構急でおまけに雨でぬかるんでい

た。途中で道を間違えて進むと自衛隊演習場のゲートに突き当たりやむなく道を引き返した。往復4キロもむだにした。ぬかるんだ遍路道を歩くのは危ないと思い自動車道を歩く。霧のかかった道路の向こうから轟音が聞こえる。通り過ぎて行ったのは装甲車だった。車上で隊員がスマホをいじっていた。82番を打ち終え一気に麓の駅へ。路を間違えたのと雨で難儀したため予定より2時間遅れていたの、83番をあきらめJR鬼無駅から高松駅に行きホテルに入った。台風の影響も考慮して2泊することに。ゴートクーポンが5千円もしたのにはびっくりした。40キロ歩く。

4日目、83番と屋島寺の麓まで行き体力調整と静養にあてた。最近のビジネスホテルは大浴場が完備されていてゆったりできてよかった。

5日目、84番屋島寺から86番志度寺まで歩く。屋島寺の登りと八栗寺の登りはきつかった。やはり年取ったせいだろうか。息切れがしてつらかった。八栗寺の登り口手前にある高名な讃岐うどん店で昼食を取ろうと思ったが行列ができてあきらめた。持参のパンで歩きながら昼食とした。今回初めて御接待の声がかりありがたくお茶をいただいた。



86番志度寺も大きな寺で草花がたくさん植えられておりまるでジャングルのような感じだ。この寺は閻魔様も祭られている。また平賀源内の故郷としても名高い。遍路宿に泊まったが寿司屋の兼業だったので夕飯は豪華だった。

6日目。今日は結願の日、朝7時に宿を出る。

天気も上々だ。87番に9時過ぎ到着。ここから88番までは女体山の山越えがある。鎖場もある難所と聞いていた。ブログを調べていると3時間で走破したとある。それを信じて歩き始めたが、お昼を過ぎても頂どころか鎖場にもつかない。ひたすら沢を遡上する。尾根道を上り詰めると岩場に突き当たる。鎖も何もないがとにかくよじ登り一寸行くと漸く鎖場だった。ちょ



っと下ってまた登りそこからは急な下りだった。

奥の院を過ぎるとすぐに88番大窪寺の下に出ることが出来た。到着したのは午後2時をちょっと過ぎていた。考えてみるとブログを書いていたのは二十代の若者。この歳では山道をそんなに早く歩けるわけがない。自分の浅はかさにあきれてしまった。本堂でまじめに般若心経を唱え納経所で御朱印を頂く。結願の証どうしますかというので2000円で購入した。寺の担当者のご苦労様の声もかけずただ事務的に朱印を書くだけでありがたみが少しもわかなかった。山門前のお土産店で遅い昼食とお土産を買い帰りのバスを待った。

足かけ6年9回の区切りで順打ち、延べ日数45日約1400<sup>km</sup>の巡礼だった。



大窪寺山門



大窪寺本堂

